

令和 2 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	千葉剛成
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		14353 公民館整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011800 生涯学習の機会充実										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	980000 公民館整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域公民館の老朽化に伴う改修等						公民館の設置者は、社会教育法第21条で市町村とされている。公民館は、これからの共創にむけて、また、地域づくりや地域振興面からも必要であり、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火事故抑止、電力消費量の軽減を図る。地域公民館6館（南部・豊洲・旭ヶ丘・日野・井上・高甫）の照明器具LED化。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
中央公民館防災施設整備工事（28年度繰越事業）	実施なし
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
南部地域公民館・臥竜山公会堂のトイレ改修工事	実施なし

指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		5,426	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	5,400	0
	その他	0	0
一般財源		26	0
人 員 数 (人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	726.5	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	726.5	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		6,152.5	0.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	476	南部地域公民館・臥竜山公会堂トイレ改修工事設計業務委託476
15節 工事請負費	4,950	南部地域公民館・臥竜山公会堂トイレ改修工事4,950
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	施設の利便性向上と、避難所としての機能を高めた。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	老朽化した施設を、必要な箇所の再整備により、事業費を抑制しながら公共施設等総合管理計画個別計画に沿った施設の適切な維持管理を行っている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	向上
評価コメント	緊急防災・減災事業として実施し、有利な財源を活用できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

今後も必要な施設の再整備・修繕などを計画的に取り組んでいきたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
公共施設等総合管理計画個別計画に基づき、計画的に実施。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
予防修繕の考えも取り入れながら計画的に実施していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	